

モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし) (為替ヘッジあり) 予想分配金提示型 (為替ヘッジなし) 予想分配金提示型

追加型投信 / 内外 / 株式



モルガン・スタンレー
グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジあり)
Morningstar Award "Fund of the Year 2019"
国際株式型(グローバル) 部門

最優秀ファンド賞 受賞

詳細はP10をご覧ください。当該評価は過去の一定期間の実績を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。

■三菱UFJ銀行からのご留意事項

◎当ファンドは預金ではなく、三菱UFJ銀行は元本を保証しておりません。また、預金保険制度の対象ではありません。 ◎投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、価格変動リスク等があり、お受取金額が投資元本を大きく下回ることがあります。したがって投資元本および運用成果が保証されているものではありません。 ◎ご購入に際しては、購入時手数料(ご購入代金に応じて、上限3.30%(税込))および保有期間中の運用管理費用(信託報酬)等の費用がかかります。 ◎ご購入に際しては、必ず最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および「目論見書補完書面」により商品内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。 ◎当ファンドをお取引いただくか否かが、三菱UFJ銀行におけるお客さまのほかの取引に影響を与えることはありません。 ◎当ファンドの購入代金に充当するための借入れを前提とした購入申込みはお受けできません。

[金融商品仲介口座を通じたご購入について]

●当ファンドは三菱UFJ銀行の投資信託口座のほかに金融商品仲介口座(三菱UFJモルガン・スタンレー証券の証券取引口座)を通じたお取扱いをしております。 ●金融商品仲介口座を通じたご購入に際しては、あらかじめ三菱UFJモルガン・スタンレー証券の証券取引口座の開設が必要です(金融商品仲介口座の開設をお申込みいただくと、お取引口座は三菱UFJモルガン・スタンレー証券に開設されます)。

ご購入の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。投資信託説明書(交付目論見書)は、三菱UFJ銀行の本・支店までご請求ください。

投資信託口座を通じたお取扱いの場合

お申込み・販売会社は



三菱UFJ銀行

株式会社三菱UFJ銀行
登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号
加入協会：日本証券業協会 / 一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

当行の苦情処理措置および紛争解決措置は
一般社団法人全国銀行協会または特定非営利活動法人証券・
金融商品あっせん相談センターを利用します。
全国銀行協会相談室：0570-017109 / 03-5252-3772
証券・金融商品あっせん相談センター：0120-64-5005
受付時間：月～金曜日 9:00～17:00(祝日・12/31～1/3等を除く)

金融商品仲介口座を通じたお取扱いの場合

お問合せ・ご照会は



三菱UFJ銀行

株式会社三菱UFJ銀行
登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号
加入協会：日本証券業協会 / 一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

委託金融商品取引業者・販売会社は

三菱UFJモルガン・スタンレー証券

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号
加入協会：日本証券業協会 / 一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用は



三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

ともに、その先へ。

ようこそ、 グローバル・プレミアム 株式オープンへ

ファンドマネージャーからのご挨拶

正しい株式を選んで長く持つ

モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッド
インターナショナル・エクイティ運用チーム グローバル・フランチャイズ運用責任者
ウィリアム・ロック



正しい株式を選んで長く持つ——。これこそが株式投資の秘訣です。正しい株式とは、有力な無形資産や価格決定力、高い利益率を裏付けに企業価値を拡大し続ける銘柄(=プレミアム企業)の株式です。

プレミアム企業の最大の魅力は、人々の生活に不可欠で、リピート購入される家庭用品や、サブスクリプション方式*で継続利用されるソフトウェアを提供している

こと等から、持続的な株価の上昇に加え、株式市場の下落局面において魅力的な下値抵抗力を期待できることにあります。

私たちが目指しているのは、プレミアム企業に集中投資を行うことにより、短期的な相場の変動や景気サイクルに左右されない持続的な果実を獲得することです。中長期で運用成果を期待される投資家の方に、ぜひ当ファンドをご検討いただきたいと思います。

「プレミアム企業」とは…

当ファンドが投資する「プレミアム企業」とは、高いブランド力、有力な特許、強固な販売網など、競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される企業を指します。

* 製品やサービス等の一定期間の利用に対して代金を支払うこと。

ファンドの名称について、略称で記載する場合や各ファンドと言う場合があります。なお、総称して「グローバル・プレミアム株式オープン」または「当ファンド」という場合があります。

正式名称	略称
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン (為替ヘッジあり)	為替ヘッジあり
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン (為替ヘッジなし)	為替ヘッジなし
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン (為替ヘッジあり) 予想分配金提示型	(為替ヘッジあり) 予想分配金提示型
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン (為替ヘッジなし) 予想分配金提示型	(為替ヘッジなし) 予想分配金提示型

上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の

競争力のあるブランドを持つ 「プレミアム企業」について

👑 高いブランド力

簡単に真似できないブランド力や、替えの効かないネットワークを確立した企業には価格決定力があるため、景気や市場環境に左右されにくく、着実に利益を増加させることができます。

ブランド力を持つ企業の一例

プロクター・アンド・ギャンブル

(アメリカ/生活必需品)

180以上の国・地域に製品・サービスを提供する世界有数の日用消費財メーカー



ビザ

(アメリカ/情報技術)

200以上の国・地域で「ビザ」ブランドを展開する世界最大級のクレジットカード会社



マイクロソフト

(アメリカ/情報技術)

圧倒的なシェア製品を数多く有する世界最大級のソフトウェア会社



・上記はプレミアム企業の一例を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。

(出所)各社HPを基に三菱UFJ国際投信作成

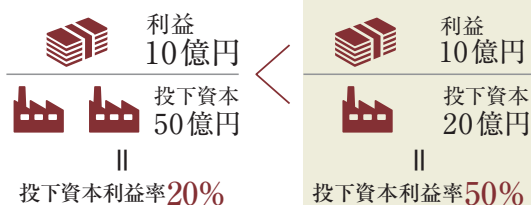
👑 高い利益率

粗利益率や投下資本利益率*などが継続的に高い企業であれば、持続的に利益を増やすことができ、長期的な株価の上昇につながると考えます。

*投下資本利益率とは、企業が事業活動のために投じた資金から、どれくらいの利益を生み出したかを示す指標です。

投下資本利益率の例

こちらの方が効率的

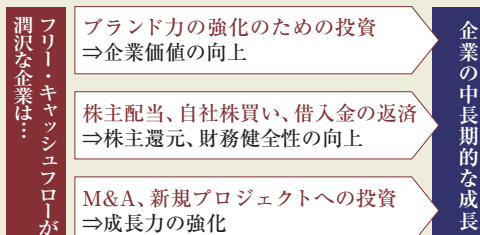


👑 潤沢なフリー・キャッシュフロー

潤沢なフリー・キャッシュフロー(企業が自由に使用できる資金)を有効に活用することができる企業であれば、企業価値の中長期的な成長に結びつけることができると考えます。

右記はイメージ図であり、すべてを網羅するものではありません。

フリー・キャッシュフロー活用のイメージ図

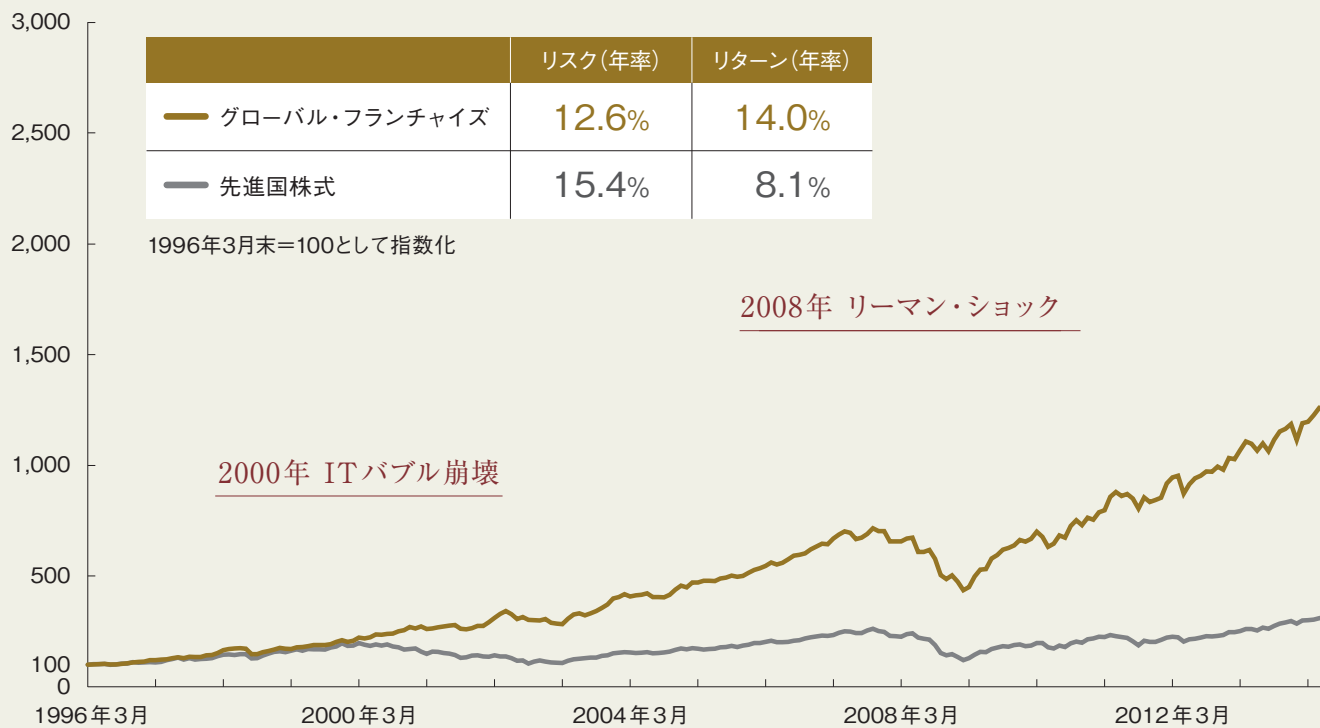


長期にわたる安定した良好な運用実績

■ 運用実績

グローバル・フランチャイズは、先進国株式よりも低いリスクで、高いリターンを

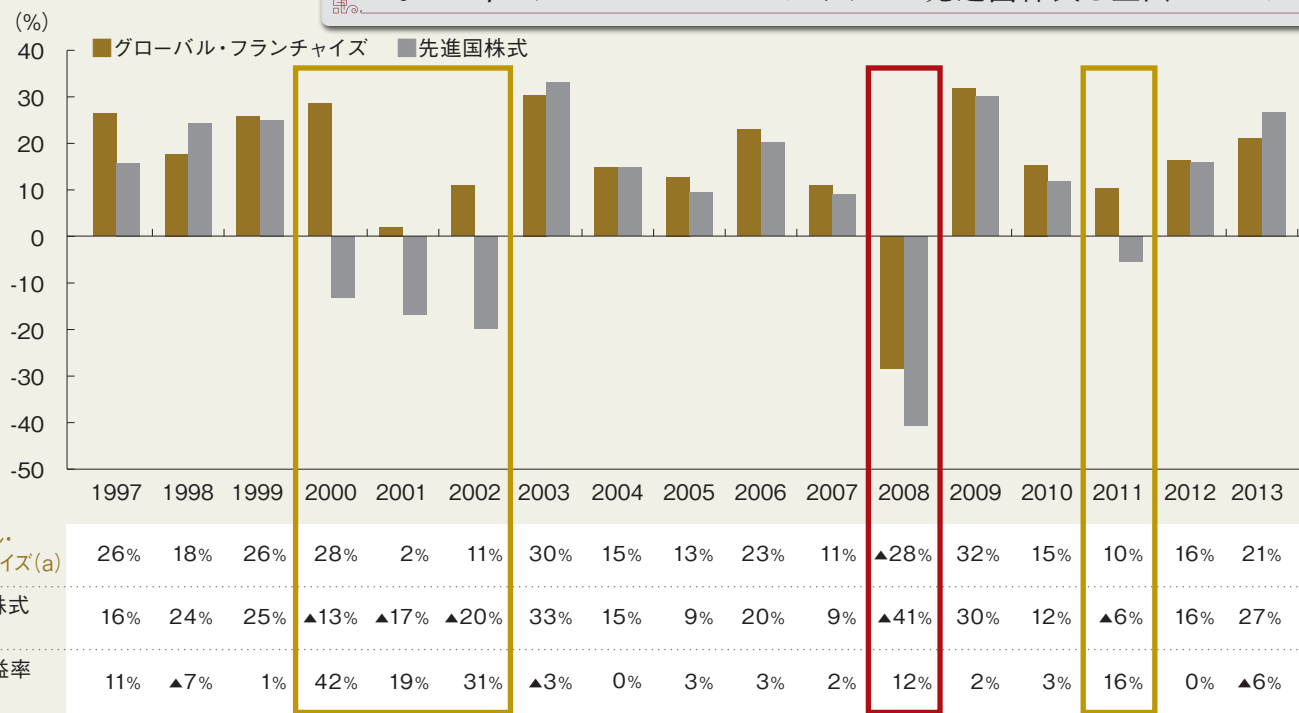
(期間: 1996年3月末～2021年2月末)



■ 年次リターン

● グローバル・フランチャイズの年次リターンがマイナスとなったのは、2008年と2018年
● グローバル・フランチャイズと先進国株式の年次リターンを比較すると、なった年にグローバル・フランチャイズが先進国株式を上回っている

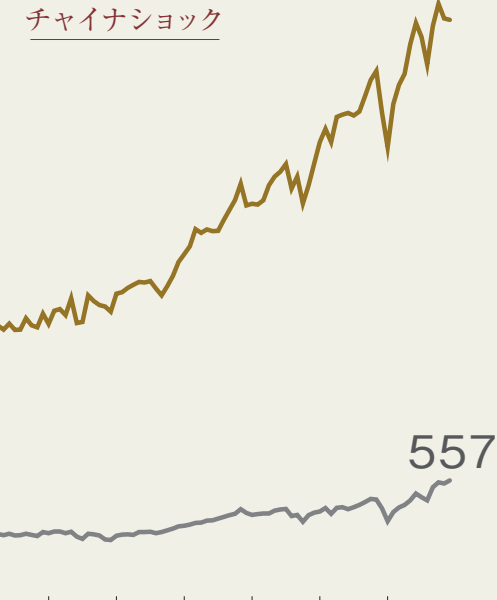
(期間: 1997年～2020年)



上げてきました。

2015年
チャイナショック

2,635

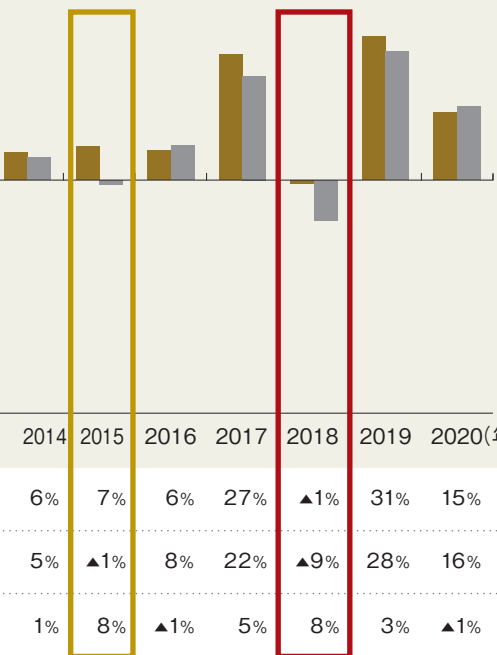


2016年3月

2020年3月

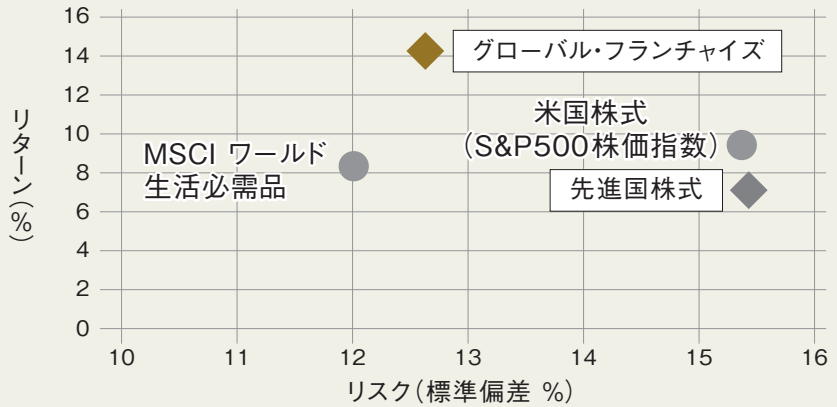
557

のみです。
先進国株式がマイナスと
ことがわかります。



■ リスク・リターン分析

(期間: 1996年3月末~2020年12月末)



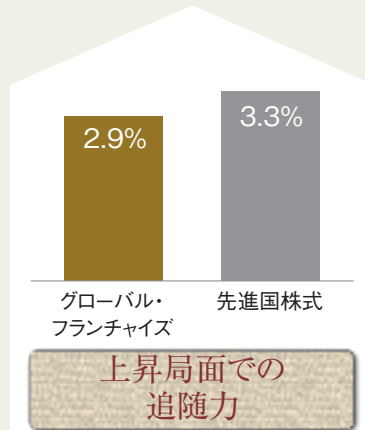
●上記リターンは、平均年率リターンを表示しています。

■ 株式市場が上昇・下落した月におけるパフォーマンス

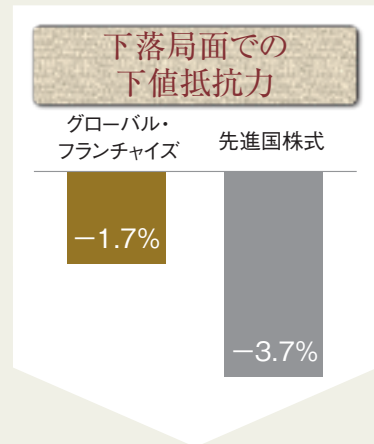
(期間: 1996年3月末~2021年2月末)

・株式市場が“上昇した”月

・株式市場が“下落した”月



●1996年3月末以来の平均月次騰落率



上記は、モルガン・スタンレー・グローバル・フランチャイズ・コンポジット*(本資料において、グローバル・フランチャイズ)のパフォーマンスを表しています。グローバル・フランチャイズは、「モルガン・スタンレー・グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド(以下、マザーファンド)」の運用指図権限の委託先であるモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドによって運用され、当ファンドが投資するマザーファンドと同様の運用プロセスを用いておりますが、当ファンドの運用実績とは異なります。また、当ファンドの将来の運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。グローバル・フランチャイズ・コンポジットの運用開始日は1996年3月31日。
*コンポジットとは、運用のパフォーマンス測定のため、類似の投資目的、投資戦略に基づき運用される複数のファンドをまとめたものをいいます。

●グローバル・フランチャイズは、運用報酬控除前、米ドルベース、配当および収益再投資のパフォーマンスを表しています。 ●先進国株式は、MSCI ワールド インデックス(税引き後配当込み米ドルベース)を使用しています。 ●MSCI ワールド インデックス(税引き後配当込み米ドルベース)は、グローバル・フランチャイズおよび当ファンドのベンチマークではありません。 ●計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。 ●運用実績におけるリターンは月次騰落率の平均を年率換算(月次騰落率の平均×12)したものであり、リスクは月次騰落率の標準偏差を年率換算したものです。

(出所) モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

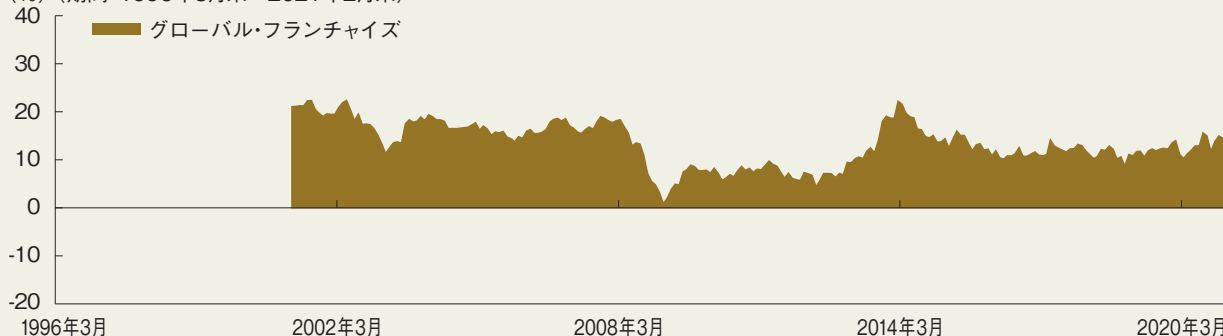
長期にわたる安定した良好な運用実績

■ 期間5年リターンの推移

グローバル・フランチャイズは、先進国株式と比較して、マイナスリターンの回数が少ないことがわかります。

米ドルベース

(%) (期間: 1996年3月末～2021年2月末)

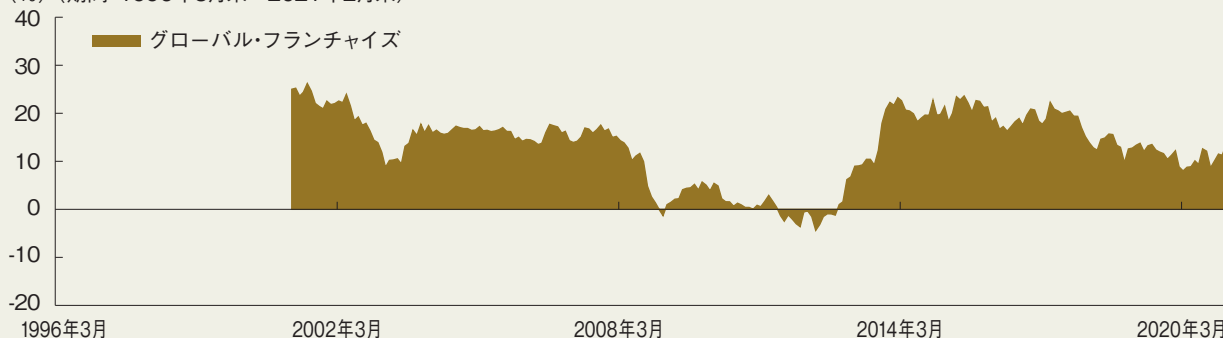


	5年リターン平均 (年率換算)	リターンの プラス回数	リターンの マイナス回数	リターンが先進国株式を 上回った回数の割合
グローバル・フランチャイズ	13.3%	240回	0回	99.6%
(ご参考)先進国株式	5.5%	182回	58回	—

●上記の先進国株式はMSCI ワールド インデックス(税引き後配当込み米ドルベース)を使用しています。なお同指数は、グローバル・フランチャイズおよび当ファンドのベンチマークではありません。●上記のグローバル・フランチャイズは、運用報酬控除前、米ドルベース、配当および収益再投資のパフォーマンスを表しています。

円換算ベース

(%) (期間: 1996年3月末～2021年2月末)



	5年リターン平均 (年率換算)	リターンの プラス回数	リターンの マイナス回数	リターンが先進国株式を 上回った回数の割合
グローバル・フランチャイズ	13.0%	223回	17回	99.6%
(ご参考)先進国株式	5.3%	152回	88回	—

●上記の先進国株式はMSCI ワールド インデックス(税引き後配当込み円ベース)を使用しています。なお同指数は、グローバル・フランチャイズおよび当ファンドのベンチマークではありません。●上記のグローバル・フランチャイズは、運用報酬控除前、円換算ベース、配当および収益再投資のパフォーマンスを表しています。

●上記は、各月末における5年リターン(年率換算)を表しています。例えば、期間5年における2021年2月末のリターンは、2016年2月末～2021年2月末までの5年間のリターン(年率換算)を表しています。

(出所)モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

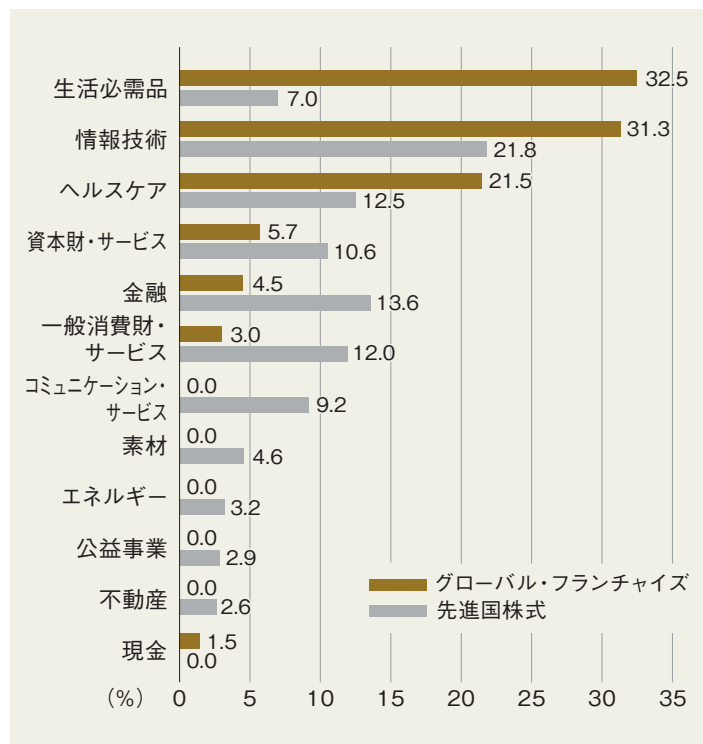
上記は、グローバル・フランチャイズのパフォーマンスを表しており当ファンドの運用実績とは異なります。また、当ファンドの将来の運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

代表口座の運用状況

(2021年2月末現在)

■ ポートフォリオのセクター配分

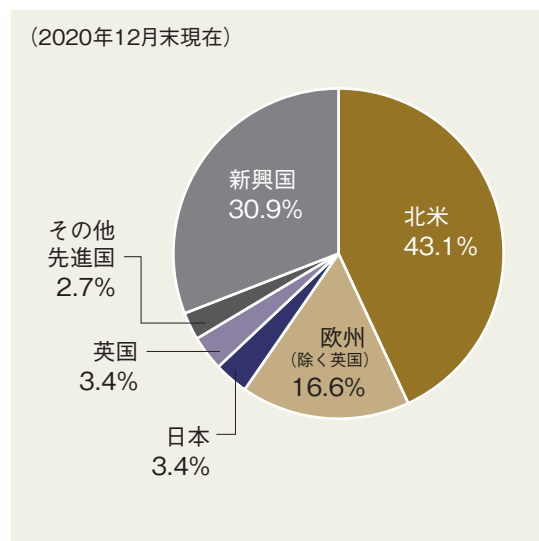
顧客の嗜好の変化や景気変動に左右されにくい、高いブランド力を持つ企業が多い傾向にある生活必需品などの組入れが多くなっています。



●業種はGICS(世界産業分類基準)のセクター分類に基づいています。

■ 保有銘柄全体の地域別売上高比率

先進国ばかりでなく、新興国での売上高比率も約30%となっています。

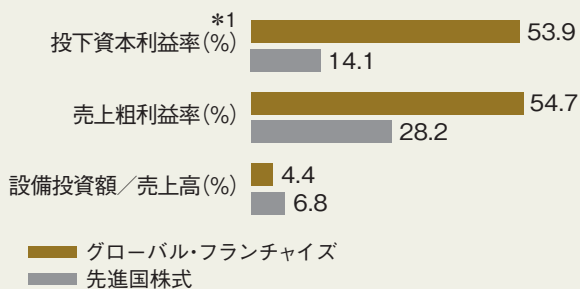


●「地域別売上高比率」は、各銘柄ごとの売上地域割合に対して当該銘柄の保有比率(現金等を除く)をかけた後、売上地域ごとに合算しています。●国・地域はモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントが定義した区分に基づいています。●新興国の企業の株式が組み入れられる場合があります。

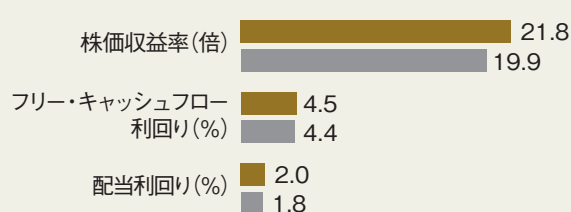
■ ポートフォリオ特性

クオリティの高いプレミアム企業の利益率・安定性が高いと評価されているため、株価収益率が先進国株式より割高になると考えられます。

クオリティ特性 — 過去*2 *3



バリュエーション特性 — 12カ月予想*2 *3



*1 投下資本利益率=EBITA / (有形固定資産+運転資金)、金融セクターを除く。EBITAは税引前・利払い前・無形資産減価償却前の利益。

*2 投下資本利益率、売上粗利益率、設備投資額/売上高は、金融セクターを除く直近値。株価収益率、フリー・キャッシュフロー(営業キャッシュフローから設備投資額を引いたもの)利回り、配当利回りは、基準日現在の代表口座の保有銘柄のファクトセット・コンセンサス予想(12カ月)の平均を基に算出。

*3 計算方法: グローバル・フランチャイズ、先進国株式ともに、(分子となる数値を加重した上で合計) / (分母となる数値を加重した上で合計)。

投下資本利益率の計算方法は、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントの運用チームが企業の営業の継続のために必要な資本に対する利益率を重視し、ROOCE (Return on Operating Capital Employed) を用いて計算しており、一般的な計算方法とは異なります。そのため、一般的な計算方法で計算された投下資本利益率とは結果が異なる場合があります。

(出所)モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

上記は、グローバル・フランチャイズ運用戦略の代表口座のポートフォリオです。したがって、当ファンドのポートフォリオの状況ではありません。また、当ファンドの将来の運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。



イギリス/生活必需品

Reckitt Benckiser Group

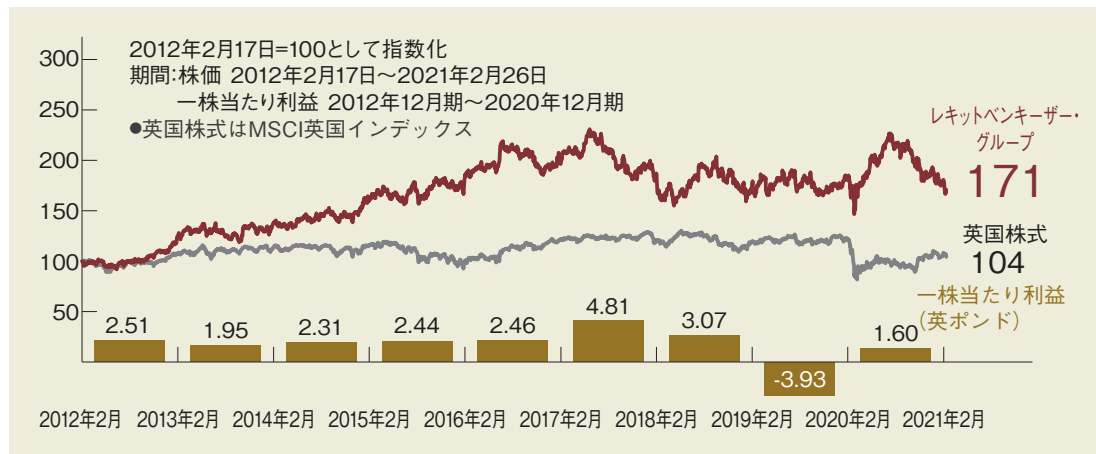
レキットベンキーザー・グループ

医薬品、衛生・家庭用品のグローバル企業

1819年に誕生した英国の日用消費財メーカー。世界60カ国以上に事業拠点をもち、製品は約200カ国で使用されている。主なブランドにニキビケアの「クレアラシル」や食器用洗剤「フィニッシュ」などがある。



■ 株価と一株当たり利益の推移(現地通貨建て)



アメリカ/情報技術

Microsoft

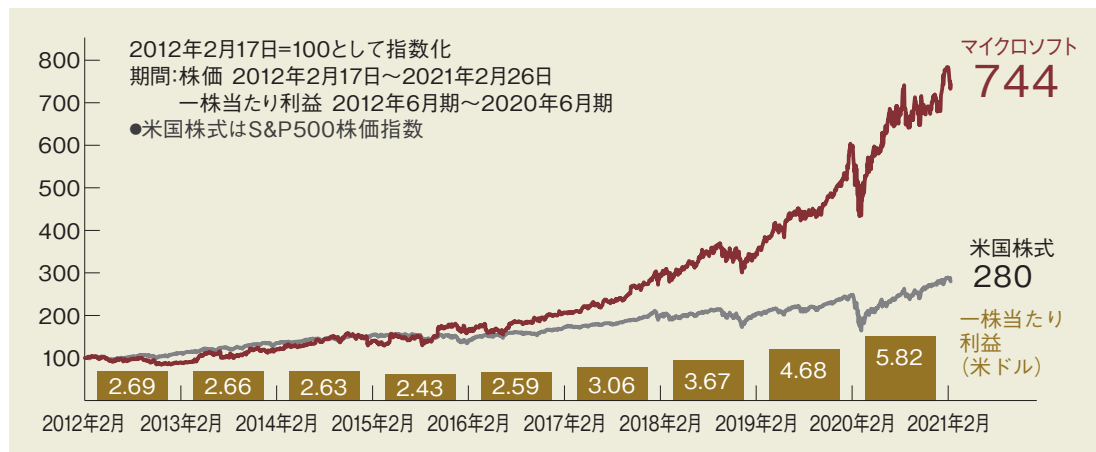
マイクロソフト

Windowsでおなじみのソフトウェア企業

米国のソフトウェア企業。基本ソフトのWindowsのみならず、タブレット端末Surface、ゲーム機Xbox、インターネット電話Skypeなど、幅広い製品・サービスを提供する。また、AzureやMicrosoft 365といったクラウド・サービスを提供している。



■ 株価と一株当たり利益の推移(現地通貨建て)





Philip Morris International

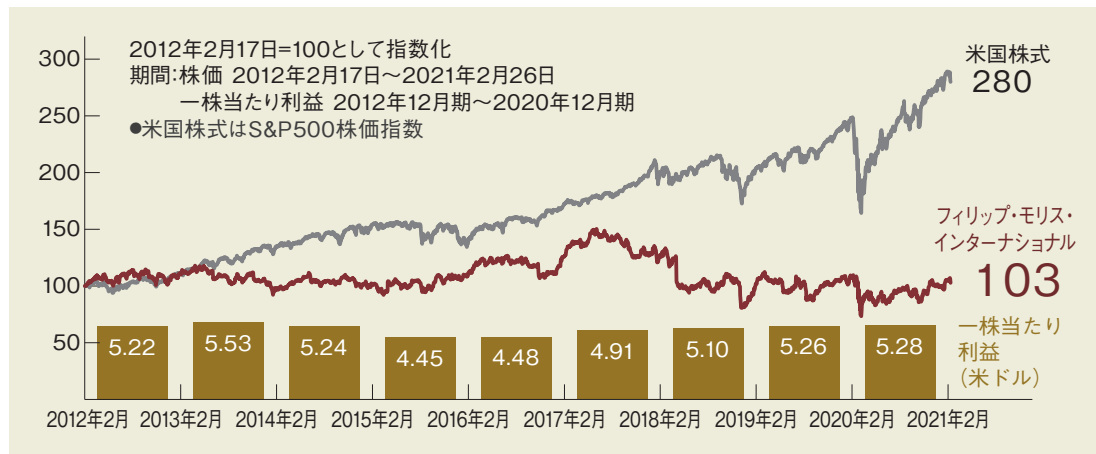
フィリップ・モリス・インターナショナル

米国外で営業する世界最大級のたばこ会社

世界約180カ国でたばこ製品を販売。たばこブランドトップ15のうちマールボロなど6ブランドを保有し、中でもマールボロは世界の紙巻たばこブランドのトップに君臨する。近年は加熱式たばこ「IQOS(アイコス)」に注力。



■ 株価と一株当たり利益の推移(現地通貨建て)



Visa

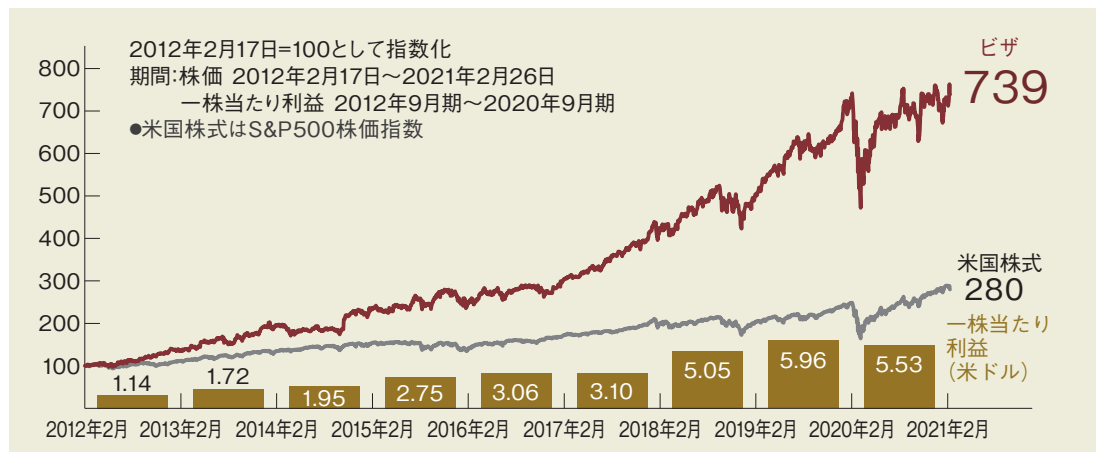
ビザ

世界最大級のクレジットカードブランドを持つ会社

1958年に創業し200カ国以上で決済テクノロジーを提供する企業。クレジットカードの国際ブランドでは世界シェア1位を誇るほか、米国で特に普及しているデビットカード市場でもシェアが高い。クレジットカード決済のみならず、デジタル化する商業の拡大に合わせ、数クリックでカード決済を可能とするアプリ「Visa Checkout」など、積極的な技術開発を行うことで革新的なサービスを提供する。



■ 株価と一株当たり利益の推移(現地通貨建て)

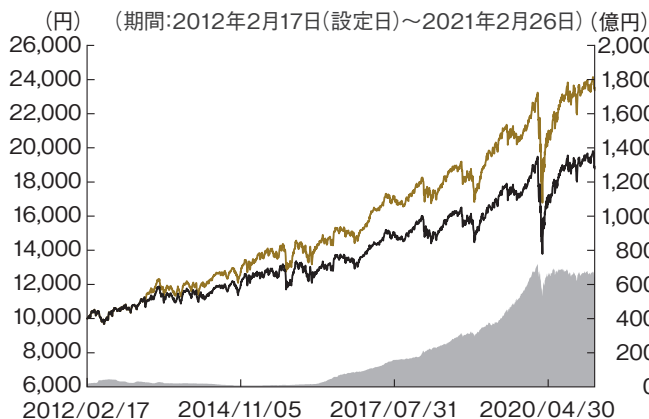


(出所)Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

当ファンドの運用実績

基準価額および純資産総額の推移

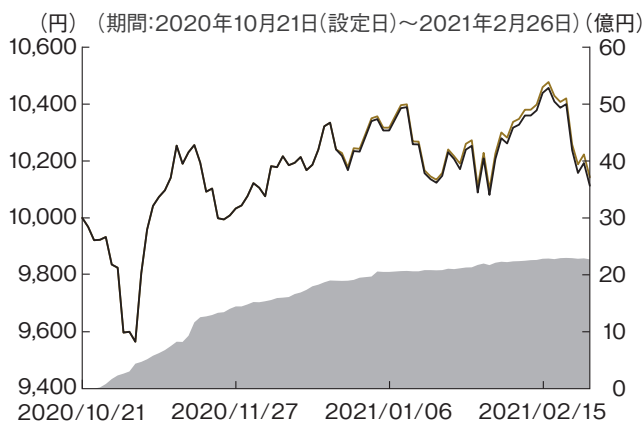
為替ヘッジあり



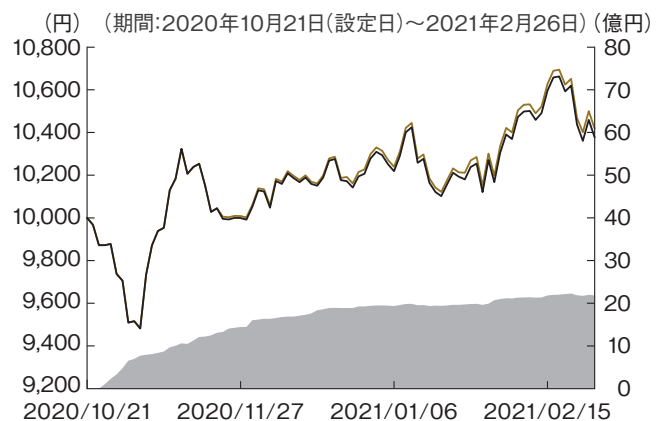
為替ヘッジなし



為替ヘッジあり (予想分配金提示型)



為替ヘッジなし (予想分配金提示型)



— 基準価額 (左目盛) — 基準価額 (分配金再投資) (左目盛) — 純資産総額 (右目盛)

●基準価額、基準価額(分配金再投資)は、1万口当たりで運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。●信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。●基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。●為替ヘッジあり(予想分配金提示型)、為替ヘッジなし(予想分配金提示型)は当初自己設定額である1万口当たり10,000円を起点として表示しています。なお、為替ヘッジあり(予想分配金提示型)の設定日の基準価額は9,969円、為替ヘッジなし(予想分配金提示型)の設定日の基準価額は9,968円です。

分配金実績 (1万口当たり、税引前)

	2021/02	2020/02	2019/02	2018/02	2017/02	2016/02	設定来累計
為替ヘッジあり	400円	400円	400円	300円	300円	300円	3,100円
為替ヘッジなし	500円	600円	500円	400円	400円	400円	4,300円

	2021/02	2021/01	2020/12	2020/11	—	—	設定来累計
為替ヘッジあり (予想分配金提示型)	10円	10円	10円	0円	—	—	30円
為替ヘッジなし (予想分配金提示型)	10円	10円	10円	10円	—	—	40円

●運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

資産構成

	比率			
	為替ヘッジあり	為替ヘッジなし	為替ヘッジあり (予想分配金提示型)	為替ヘッジなし (予想分配金提示型)
株式	94.5%	96.9%	95.0%	96.6%
コールローン他	5.5%	3.1%	5.0%	3.4%

組入上位10カ国・地域

国・地域	比率			
	為替 ヘッジあり	為替 ヘッジなし	為替 ヘッジあり (予想分配 金提示型)	為替 ヘッジなし (予想分配 金提示型)
1 アメリカ	67.6%	69.4%	68.0%	69.2%
2 イギリス	13.1%	13.4%	13.2%	13.4%
3 フランス	6.7%	6.8%	6.7%	6.8%
4 ドイツ	4.4%	4.5%	4.4%	4.5%
5 オランダ	2.1%	2.2%	2.2%	2.2%
6 イタリア	0.5%	0.6%	0.5%	0.5%
7 -	-	-	-	-
8 -	-	-	-	-
9 -	-	-	-	-
10 -	-	-	-	-

組入上位10業種

業種	比率			
	為替 ヘッジあり	為替 ヘッジなし	為替 ヘッジあり (予想分配 金提示型)	為替 ヘッジなし (予想分配 金提示型)
1 生活必需品	31.4%	32.2%	31.5%	32.1%
2 情報技術	29.7%	30.5%	29.9%	30.4%
3 ヘルスケア	20.6%	21.1%	20.7%	21.1%
4 資本財・サービス	5.5%	5.7%	5.6%	5.7%
5 金融	4.3%	4.4%	4.3%	4.4%
6 一般消費財・サービス	3.0%	3.0%	3.0%	3.0%
7 -	-	-	-	-
8 -	-	-	-	-
9 -	-	-	-	-
10 -	-	-	-	-

組入上位10銘柄(組入銘柄数:30銘柄)

銘柄	国・地域	業種	比率			
			為替 ヘッジあり	為替 ヘッジなし	為替ヘッジあり (予想分配 金提示型)	為替ヘッジなし (予想分配 金提示型)
1 マイクロソフト	アメリカ	情報技術	8.7%	9.0%	8.8%	8.9%
2 フィリップ・モリス・インターナショナル	アメリカ	生活必需品	8.1%	8.3%	8.2%	8.3%
3 レキットベンキーザー・グループ	イギリス	生活必需品	7.3%	7.5%	7.3%	7.4%
4 ビザ	アメリカ	情報技術	5.4%	5.5%	5.4%	5.5%
5 アクセンチュア	アメリカ	情報技術	4.6%	4.8%	4.7%	4.7%
6 SAP	ドイツ	情報技術	4.4%	4.5%	4.4%	4.5%
7 プロクター・アンド・ギャンブル	アメリカ	生活必需品	4.4%	4.5%	4.4%	4.5%
8 アボットラボラトリーズ	アメリカ	ヘルスケア	4.2%	4.4%	4.3%	4.3%
9 バクスターインターナショナル	アメリカ	ヘルスケア	4.1%	4.3%	4.2%	4.2%
10 オートマチック・データ・プロセッシング	アメリカ	情報技術	4.1%	4.2%	4.1%	4.2%

●国・地域はモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドが定義した区分に基づいています。 ●比率は純資産総額に対する割合です。 ●業種は、GICS(世界産業分類基準)で分類しています。 ●コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。 ●四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。



モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジあり)

Morningstar Award “Fund of the Year 2019” **最優秀ファンド賞**を受賞しました。

※国際株式型(グローバル) 部門

Morningstar Award “Fund of the Year 2019” は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、2019年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。国際株式型(グローバル) 部門は、2019年12月末において当該部門に属するファンド546本の中から選考されました。Morningstar Award “Fund of the Year 2019”は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的財産その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

【本資料で使用している指数について】

- 先進国株式：MSCI ワールド インデックス / MSCI ワールド インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の先進国で構成されています。
 - 英国株式：MSCI 英国 インデックス / MSCI 英国 インデックスとは、MSCI Inc.が開発した英国の株価指数です。
 - MSCI ワールド 生活必需品：MSCI ワールド 生活必需品 インデックス / MSCI ワールド 生活必需品 インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の先進国の株式のうち生活必需品セクターに分類された銘柄で構成されています。
- 各指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
- 米国株式：S&P500株価指数 / S&P500株価指数とは、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが公表している株価指数で、米国の代表的な株価指数の1つです。市場規模、流動性、業種等を勘案して選ばれたニューヨーク証券取引所等に上場および登録されている500銘柄を時価総額で加重平均し指数化したものです。
 - GICS(世界産業分類基準)：Global Industry Classification Standard (“GICS”)は、MSCI Inc.とS&P(Standard & Poor’s)が開発した業種分類です。GICSに関する知的財産権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。
- 写真等提供(P2、7、8)：アフロ

ファンドの目的 信託財産の成長を目指して運用を行います。

ファンドの特色

特色 1

世界各国の株式のうち、プレミアム企業の株式に投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。

- 当ファンドにおいて「プレミアム企業」とは、高いブランド力、有力な特許、強固な販売網など、競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される企業を指します。

※プレミアム企業という名称は良好なパフォーマンスを示すものではありません。

特色 2

銘柄の選定に際しては、長期保有を視野に徹底的なボトムアップ・アプローチ*を行い、利益成長の持続可能性を多面的に分析します。

*ボトムアップ・アプローチとは、投資対象となる個別企業の調査、分析に裏付けられた投資判断をもとに銘柄選定を行い、その積み上げによりポートフォリオを構築していく方法です。

- 収益性、財務内容の分析に加え、保有する無形資産や経営陣の質などから利益成長の持続可能性を多面的に分析します。
- 原則として、厳選した20～40銘柄に集中投資を行います。
- 株式の組入比率は、原則として高位を保ちます。

特色 3

モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに運用指図の権限を委託します。

- モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッド(所在地:英国ロンドン)は、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントの欧州拠点です。
- モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントは、世界各国に拠点を持つグローバル総合金融機関であるモルガン・スタンレーの資産運用部門で、株式運用において大手の資産運用グループの一つです。

特色 4

為替ヘッジの有無により、「為替ヘッジあり」、「(為替ヘッジあり)予想分配金提示型」、および「為替ヘッジなし」、「(為替ヘッジなし)予想分配金提示型」があります。

- 「為替ヘッジあり」、「(為替ヘッジあり)予想分配金提示型」は、外貨建資産について、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。為替ヘッジに関しては、委託会社が行います。

※一部の通貨については、その通貨との相関が高いと判断される代替通貨により対円で為替ヘッジを行うことがあります。

- 「為替ヘッジなし」、「(為替ヘッジなし)予想分配金提示型」は、外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行いません。

市況動向および資金動向等により、上記の

特色
5

「為替ヘッジあり」、「為替ヘッジなし」は、年1回(毎年2月23日(休業日の場合は翌営業日))決算を行い、収益の分配を行います。「(為替ヘッジあり)予想分配金提示型」、「(為替ヘッジなし)予想分配金提示型」は、毎月の決算日(毎月23日(休業日の場合は翌営業日))の前営業日の基準価額に応じた分配をめざします。

- 分配対象額は、経費等控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。

為替ヘッジあり、為替ヘッジなし

- 委託会社が基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。(ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。)

将来の収益分配金の支払いおよびその金額について保証するものではなく、委託会社の判断により、分配を行わない場合もあります。

(為替ヘッジあり)予想分配金提示型、(為替ヘッジなし)予想分配金提示型

- 原則として、決算日の前営業日の基準価額に応じ、下記の金額の分配をめざします。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。また、決算日の前営業日から決算日まで基準価額が急激に変動した場合等には、下記の分配を行わないことがあります。

※基準価額が下記の一定の水準に一度でも到達すればその水準に応じた分配を続ける、というものではありません。
 ※分配により基準価額は下落します。そのため、基準価額に影響を与え、次期以降の分配金額は変動する場合があります。また、あらかじめ一定の分配金額を保証するものではありません。
 ※下記表に記載された基準価額および分配金額は、予想に基づくものであり、将来の運用の成果を保証または示唆するものではありません。

決算日の前営業日の基準価額	分配金額 (1万口当たり、税引前)
10,500円未満	基準価額の水準等を勘案して決定
10,500円以上11,000円未満	50円
11,000円以上12,000円未満	100円
12,000円以上13,000円未満	150円
13,000円以上14,000円未満	200円
14,000円以上15,000円未満	250円
15,000円以上	300円

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

ファンドのしくみ

ファミリーファンド方式により運用を行います。
 ファミリーファンド方式とは、受益者から投資された資金をまとめた投資信託をベビーファンドとし、その資金の全部または一部をマザーファンドに投資して、マザーファンドにおいて実質的な運用を行う仕組みです。なお、当ファンドはモルガン・スタンレーグローバル・プレミアム株式オープン マザーファンドを通じて実質的な運用を行います。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託から分配金が支払われるイメージ

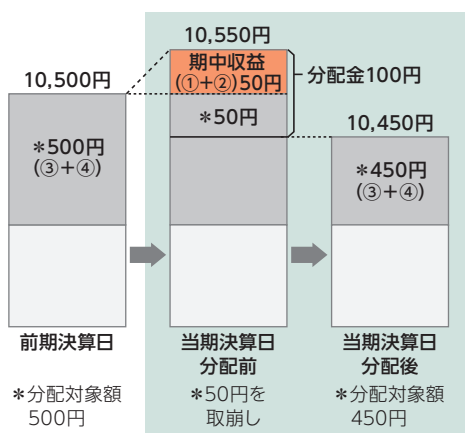


- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

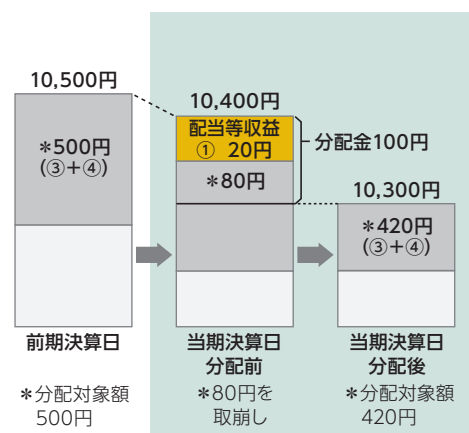
分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



前期決算日から基準価額が下落した場合



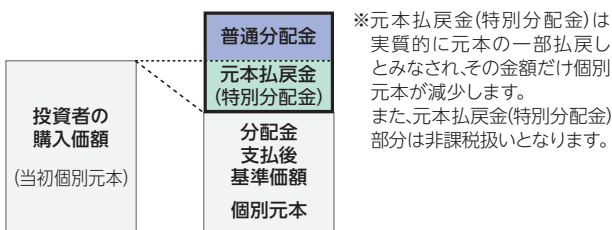
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

分配準備積立金：当期の①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益のうち、当期分配金として支払わなかった残りの金額をいいます。信託財産に留保され、次期以降の分配金の支払いに充当できる分配対象額となります。

収益調整金：追加型投資信託で追加設定が行われることによって、既存の受益者への収益分配可能額が薄まらないようにするために設けられた勘定です。

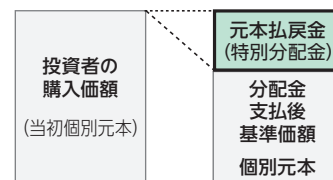
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金)：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

購入時手数料に関する留意事項

お客さまにご負担いただく購入時手数料の具体例は以下の通りです。販売会社によっては金額指定(購入時手数料を含む場合と含まない場合があります)、口数指定のいずれかのみのお取扱いになる場合があります。くわしくは、販売会社にご確認ください。

[金額を指定して購入する場合] (購入時手数料を含む場合)

例えば、100万円の金額指定でご購入いただく場合、100万円の中から購入時手数料(税込)をご負担いただきますので、100万円全額が当該ファンドの購入金額となるものではありません。

[口数を指定して購入する場合]

例えば、基準価額10,000円(1万口当たり)の時に100万口ご購入いただく場合、購入時手数料=(10,000円÷1万口)×100万口×手数料率(税込)となり、100万円と購入時手数料の合計額をお支払いいただくこととなります。

■ 基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

株価変動リスク

株式の価格は、国内および国際的な政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給関係等の影響を受け変動します。株式の価格が変動すれば当ファンドの基準価額の変動要因となります。

為替変動リスク

「為替ヘッジあり」、「(為替ヘッジあり)予想分配金提示型」

投資する株式は、世界各国の現地通貨建等のものとなります。外貨建資産に投資を行いますので、為替変動リスクが生じます。これらの外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかりますが、設定や解約等の資金動向、為替ヘッジのタイミングおよび範囲、ならびに市況動向等の要因により、完全に為替変動リスクを排除することはできません。また、円金利がヘッジ対象となる外貨建資産の通貨の金利より低い場合、円とヘッジ対象となる外貨建資産の通貨との金利差相当分のヘッジコストがかかることにご留意ください。ただし、為替市場の状況によっては、金利差相当分以上のヘッジコストとなる場合があります。

「為替ヘッジなし」、「(為替ヘッジなし)予想分配金提示型」

投資する株式は、世界各国の現地通貨建等のものとなります。外貨建資産に投資を行いますので、投資している有価証券の発行通貨が円に対して強く(円安に)なれば当ファンドの基準価額の上昇要因となり、弱く(円高に)なれば当ファンドの基準価額の下落要因となります。

上記のリスクは主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。

■ その他の留意点

- ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のベビーファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合などには、ファンドの基準価額に影響する場合があります。
- 当ファンドのお取引に関しては、クーリングオフ(金融商品取引法第37条の6の規定)の適用はありません。

■ リスクの管理体制

ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。また、定期的開催されるリスク管理に関する会議体等において、それらの状況の報告を行うほか、必要に応じて改善策を審議しています。なお、運用委託先で投資リスクに対する管理体制を構築していますが、委託会社においても運用委託先の投資リスクに対する管理体制や管理状況等をモニタリングしています。

モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし) (為替ヘッジあり) 予想分配金提示型 / (為替ヘッジなし) 予想分配金提示型

ご購入の際は、投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

※三菱UFJ銀行でお申込みの場合

お申込みメモ

購入単位
分配金再投資コース(累積投資コース):1万円以上1円単位
購入単位には購入時手数料(税込)が含まれます。
再投資される分配金については、1口単位とします。投資信託口座を通じてお申込みの場合は上記以外の購入単位でのお取扱いもごさいます。くわしくは、三菱UFJ銀行のホームページをご覧ください。

購入価額
購入申込受付日の翌営業日の基準価額
※基準価額は1万口当たりで表示されます。

換金単位
投資信託口座:1円以上1円単位、または1口以上1口単位、または全部。
金融商品仲介口座:1口以上1口単位、または全部。

換金価額
換金申込受付日の翌営業日の基準価額

換金代金
原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目にお支払いします。

申込不可日
ロンドン証券取引所、ロンドンの銀行、ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行のいずれかが休業日の場合には、購入・換金はできません。

申込締切時間
原則として、午後3時までに受付けたものを当日の申込分とします。

換金制限
各ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。

購入・換金申込受付の中止および取消し
金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。また、信託金の限度額に達しない場合でも、各ファンドの運用規模・運用効率等を勘案し、市況動向や資金流入の動向等に応じて、購入のお申込みの受付を中止することがあります。

信託期間
■為替ヘッジあり/為替ヘッジなし
2037年2月20日まで(2012年2月17日設定)
■(為替ヘッジあり) 予想分配金提示型/(為替ヘッジなし) 予想分配金提示型
2037年2月20日まで(2020年10月21日設定)

繰上償還
■為替ヘッジあり/為替ヘッジなし
ファンドの受益権の総口数が、当初設定時の10分の1または10億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。
■(為替ヘッジあり) 予想分配金提示型/(為替ヘッジなし) 予想分配金提示型
ファンドの受益権の総口数が10億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。

決算日
■為替ヘッジあり/為替ヘッジなし
毎年2月23日(休業日の場合は翌営業日)
■(為替ヘッジあり) 予想分配金提示型/(為替ヘッジなし) 予想分配金提示型
毎月23日(休業日の場合は翌営業日)

収益分配
■為替ヘッジあり/為替ヘッジなし
年1回の決算時に分配を行います。
■(為替ヘッジあり) 予想分配金提示型/(為替ヘッジなし) 予想分配金提示型
毎月の決算時に分配を行います。
ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少および基準価額の下落要因となります。収益分配金は税金を差引いた後、原則として再投資されます。
※分配金を再投資せず、お客様の指定口座にご入金するお取扱いを希望される場合は、分配金出金(定期引出契約)をお申込みください。

課税関係
課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人投資者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。

スイッチング
各ファンド間でのスイッチングが可能です。手数料等は、「ファンドの費用」をご参照ください。なお、換金時の譲渡益に対して課税されます。

ファンドの費用

◎お客さまが直接的に負担する費用

購入時	購入時手数料	購入金額(購入価額×購入口数)×手数料率で得た額 手数料率は、購入代金(購入金額+購入時手数料(税込))に応じて以下の率とします。
	購入代金	手数料率
	1億円未満	3.30%(税抜3.00%)
	1億円以上3億円未満	2.20%(税抜2.00%)
	3億円以上5億円未満	1.10%(税抜1.00%)
	5億円以上10億円未満	0.55%(税抜0.50%)
	10億円以上	かかりません
	■スイッチングの場合 かかりません。 ※インターネット取引でご購入の場合は、上記手数料率から10%優遇。	

換金時	信託財産留保額	ありません。
-----	---------	--------

◎お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

保有期間中	運用管理費用(信託報酬)	各ファンドの日々の純資産総額に対して、 年率1.980%(税抜年率1.800%) をかけた額
	その他の費用・手数料	以下の費用・手数料についても各ファンドが負担します。 ・監査法人に支払われる各ファンドの監査費用 ・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料 ・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 ・その他信託事務の処理にかかる諸費用等 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、各ファンドの基準価額に反映されます。為替ヘッジあり/為替ヘッジなしについては、毎計算期間の最初の6か月終了時、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。(為替ヘッジあり) 予想分配金提示型/(為替ヘッジなし) 予想分配金提示型については、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。
※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、各ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ国際投信株式会社

お客様専用フリーダイヤル **0120-151034**
(受付時間/営業日の9:00~17:00)
●ホームページアドレス <https://www.am.mufj.jp/>

受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

株式会社りそな銀行

販売会社(購入・換金の取扱い等)
[投資信託口座を通じてお取扱いの場合]

株式会社三菱UFJ銀行
[金融商品仲介口座を通じてお取扱いの場合]

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社
(金融商品仲介業務等を行う登録金融機関:株式会社三菱UFJ銀行)
他の販売会社は、上記の委託会社の照会先でご確認いただけます。

本資料に関してご留意いただきたい事項

- 本資料は、三菱UFJ国際投信が作成した販売用資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡りする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。●本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。●本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。●投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。●投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。